

卒業生の進路、カラフルな人生。

山形県立米沢栄養大学を卒業した先輩方は、学んだ知識を生かし、様々なフィールドで活躍しています。活躍の場は十人十色。そんなカラフルな先輩方を紹介します。

2021年卒業 **安食 芽依** さん

遊佐町 健康福祉課 子育て支援係 管理栄養士

私は、生まれ育った山形県で食の面から人々を支えたいと思い米沢栄養大学に入学しました。学生時代、臨地実習で病院に行かせていただきました。そこで、長年続けてきた生活習慣を変えるのは困難で、子どもの頃の食育がとても大事であると学び様々な年代の方々に関わりたいと考え、今の仕事を選びました。

学生時代は、授業以外の活動では「減塩プロジェクト」事業に参加し、弁当の開発や小学生に向けた減塩についてのリーフレット作成など貴重な経験をさせていただきました。

現在の仕事内容は、町立保育園の献立作成や食育・乳幼児健診での栄養相談、町内の施設に向けて栄養についての講話などを行っています。学生時代に得た知識は役に立ちますが、まだまだ経験不足で周りの方々に助けをいただながら仕事をしています。町民のみならず、健康で暮らせるような食環境整備を頑張っていきたいと思っています。



2022年卒業 **渡邊 きくの** さん

置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院 管理栄養士

大学では、入学前の想像よりもはるかにミク口な視点で栄養について学ぶことが出来ました。また、大量調理や集団指導、臨地実習各分野で活躍する特別講師による授業など、管理栄養士となったその先の進路について考える機会がたくさんありました。

私は病院に就職することを選び、多くの患者さんに携わる中で、食へることの重要性を一層実感しています。実際に口から十分な食事を摂取出来ている方とそうでない方とでは経過に違いがあることを目の当たりにしました。適切な栄養量を確保できるように食事内容の調整を行い、微力ながら治療の土台作りに携わっていきたく思っています。

また、栄養指導を通して食習慣や生活背景についてお話をし、食事を楽しんでいる様子や、疾病に繋がるような食習慣、やめられない事情など、十人十色の食習慣と身体データを照らしながら、食習慣と身体状態との関連について考えています。自宅でも実践できる食事の工夫をお伝えできるよう日々勉強しています。



2021年卒業 **山口 真帆** さん

株式会社アップルケアネット アップル薬局 管理栄養士

私は、生まれ育った山形県の健康に栄養の分野から関わりたいと思い、米沢栄養大学を選びました。地産地消の食資源が豊富な山形県で、調理実習や農業体験などを通して実践的に学ぶことができた学生生活は、とても恵まれた環境でした。授業や実習を通して食と健康の結びつきを学んでいく中で、食習慣が発症の原因のひとつである生活習慣病の患者様へ身近で継続的に指導ができる調剤薬局に魅力を感じました。

現在は、栄養相談をはじめ、処方箋受付、店内商品の管理などの業務を行っています。情報化社会によって、世の食への関心は日に日に高まる中で、日常の小さな疑問から、疾患に対する食事療法まで、幅広く相談できる身近な窓口のような存在でありたいと思っています。調剤薬局に管理栄養士がいることはまだまだ広く知られていませんが、地域の方々が気軽に相談できる管理栄養士を目指し、日々勉強を続けていきます。



2021年卒業 **横澤 実郷** さん

社会福祉法人 江東園 管理栄養士

きっかけは些細なことですが、自身で作った料理を褒めてもらったことが嬉しく、栄養学について深く学びたいと思い管理栄養士を目指しました。私は高齢者も子どもも好きで幼老複合施設に就職しました。今は栄養ケア・モニタリングイベント食献立立案、食育等を担当させて頂いています。新型コロナウイルスの関係で、世代間交流を行っていない現状にありますが、食を介した世代間交流活動ができることを楽しみにしています。大学では、栄養学に関する座学や調理実習だけでなく、栄養教諭資格を取得するために教育学についても学んでいました。福祉施設・病院・行政・小学校と様々な実習を経験することができ、実際にその経験が生かされていると感じます。

まだまだ何を学んだらいいかわからないと感じるかもしれませんが、小さなことでも知ろうと思うその気持ちや行動が今後生きてくると感じています。



2021年卒業 **山田 莉沙** さん

富山県立となみ総合支援学校 管理栄養士

管理栄養士養成課程を有する公立の単科大学という点に惹かれ、米沢栄養大学を選びました。大学時代は少人数制で先生方との距離が近く、相談しやすいアットホームな環境でした。私は働きながら教員採用試験を受けたのですが、卒業後も論文添削や面接練習など、手厚いサポートをしていただきました。現在も、困ったことがあれば先生方や同じ栄養士として働く友人に相談したりするなど、この大学で大切な仲間に出会えたと思っています。

現在は地元富山県に戻り、支援学校で給食の献立作成や発注、食育指導を行っています。生きる力を学ぶ支援学校の子どもたちにとって、食育は重要であると日々感じます。指導案や教材の作成、言葉の選び方等、どのように指導したらよいか悩む部分も多いですが、子供たちが食や栄養に興味を持ち、意欲的に学習に取り組み姿を見ると、とてもやりがいを感じます。これからも子供たちと共に学びながら、安心安全な学校給食、充実した食育指導の実現に向けて、日々の業務に励んでいきたいと思っています。

